



MASTERCARD INDEX OF WOMEN ENTREPRENEURS

世界経済の回復の鍵は、女性起業家への投資

経済参加

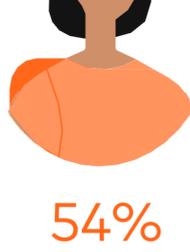
新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の経済的影響は、男性よりも女性のほうが大きい



3人に2人

新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けている女性が経営する企業の割合(64%)

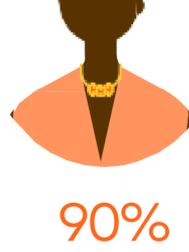
男性の割合は52%



54%

コロナ禍に職を失った人のうち、女性が占める割合

世界の雇用全体に占める女性の割合は39%



90%

職を失った女性のうち、復職していない人の割合

男性の割合は70%

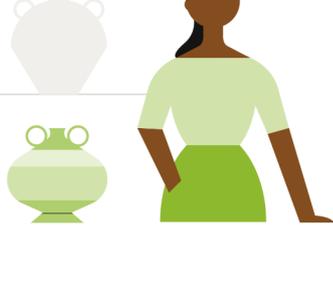


36

世界的なジェンダー・ギャップが解消されるまでにさらに36年かかる可能性があると予想されている

起業活動

困難に直面しても、女性はレジリエンス（回復力）と自信があり、前向きな起業家である



14

コロナ禍に女性の起業活動が増加した経済圏の数

+9.3%

コロンビア

+7.5%

ウルグアイ

+0.5%

台湾

10

女性の起業活動が男性を上回った経済圏の数

-0.2%

日本においてコロナ禍に女性の起業活動が減少した割合



意志を持った行動

女性は自己実現のためにチャンスを見逃さずつかんでいるが、必要に迫られて起業している女性もいる



80%

ベトナム、タイ、コスタリカ、ナイジェリアの女性起業家のうち、ビジネスチャンスを生かすために起業した割合（事業機会型）

40%

必要に迫られて行動した日本の女性の割合（生計確立型）

60%

社会に変革をもたらすために起業をした英国の女性の割合

25%

家業を継承するために台湾の女性が起業をした割合



37/65

失業率が数年来の高水準になり、必要に迫られて起業をした女性が顕著に増加した経済圏

世界ランキング

女性起業家にとって最適な場所は米国

以下の国では、質の高いガバナンス、前向きな社会的・文化的態度、活気ある起業家精神といった好条件に後押しされ、女性が企業の経営者として高い割合を占める

#1 米国

#4 オーストラリア

#7 上昇率が一番大きいドイツは7位に浮上

#2 ニュージーランド

#5 スイス

#3 カナダ

#6 台湾

#47 日本

カテゴリーリーダー

東南アジアと太平洋地域は、女性が経営する企業を支援する条件が最も整っている

これらの経済圏では、女性が金融支援やサービスを利用しやすく、女性が起業活動を始め、運営し、成功させるために必要な条件を整え続けている



女性の活躍：フィリピン



起業家支援：ニュージーランド

知識・資金へのアクセス：シンガポール

特別表彰

アフリカのいくつかの経済圏では、様々な課題があるにもかかわらず、女性の進出が進んでいる

ガーナ、ウガンダ、ボツワナ、アンゴラ、マラウイ、マダガスカルでは、女性が困難に立ち向かい続けている¹



地元企業全体の25%以上を所有



重要な経済的貢献



起業活動における男女格差の縮小

1. 女性経営者の割合は MIWE 2021年トレンドラインより10%未満上回っている

改良の余地

女性が経営する企業の全てが、存続するために必要な支援を得られているわけではない



51

コロナ禍に女性（および男性）の起業活動が減少した経済圏の数



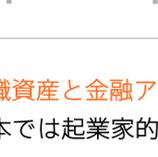
80%

信用供与を必要とする女性経営者のうち、与信を受けていない、または額が不足している企業の割合



10人に4人

途上国の女性の10人のうち4人はビジネスをすでに閉じたか、近いうちに閉じる可能性がある



10% 未満

政府によるコロナの影響を受けた事業への回復を支援する施策の内、ジェンダーに配慮した取り組みは10%未満である

知識資産と金融アクセス

日本では起業家的態度・認識のパフォーマンスにおけるスコアが非常に低い

52位

起業家に対する社会文化的受容

65位

起業機会の認識

43位

失敗への恐れ

16.5%

女性が所有するビジネスの全体の割合

行動を起こすべき時

世界経済の潜在的回復力を最大限にするには、より持続可能で、包摂的な成長を実現するために、世界中の女性起業家に力を与え、女性が経営する企業を支援することが不可欠



資金や研修へのアクセスを改善することで、女性の経済的な見通しとその経済圏が劇的に改善される可能性がある



女性の起業を意図的に支援する政府の取組は、より迅速でバランスの取れた経済回復に大きく貢献する